

16 インフラ資産

(1) 道路の基本的な考え方

道 路
個別の基本的な考え方
<ul style="list-style-type: none">・重要幹線道路については、予防保全による長寿命化を進め、それ以外の道路については、道路の重要性、交通量等によって耐用年数、整備水準を変えるとともに、破損箇所、劣化状況に応じて、事後保全、観察保全等を組み合わせることで、効果的、効率的な維持管理を行います。・安全・円滑な道路交通に資するため、日常的なパトロールや、定期的な点検・診断調査を継続的に実施し、施設の劣化や不具合の早期発見に努めます。・道路維持補修については、幹線道路と生活道路や交通量・重要度等に応じて、耐用年数、整備水準等を変えて対応することで、更新費用の縮減と投資の平準化を図ります。・道路台帳や点検結果、補修履歴等を継続的に蓄積し、維持管理業務の効率化を図ります。・災害発生時には周辺自治体や関係機関と連携・協力し、迅速な復旧・復興に取り組めます。

(2) 消雪施設の基本的な考え方

消雪施設
個別の基本的な考え方
<ul style="list-style-type: none">・消雪施設の水源を維持するため、定期的な点検・診断調査を継続的に実施し、施設の劣化や不具合の早期発見に努め、「予防保全型」による計画的な対策を実施するとともに、ライフサイクルコストの縮減を図りながら、施設の長寿命化を図ります。

(3) 橋りょうの基本的な考え方

橋りょう
個別の基本的な考え方
<ul style="list-style-type: none">・「射水市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、日常的なパトロール・清掃、定期的な点検・診断調査を継続して実施します。・橋りょうの劣化や損傷などの早期発見に努め、「予防保全」「事後保全」「観察保全」の組み合わせによる対策を実施するとともに、橋りょうごとの健全度や優先度に応じた対策を実施することで、人命に繋がる事故の発生を未然に防止します。・点検・診断調査結果などに基づく劣化予測から、計画的な維持管理、修繕に努め、ライフサイクルコストの縮減を図りながら、施設の長寿命化を図ります。・災害発生時には周辺自治体や関係機関と連携・協力し、迅速な復旧・復興に取り組めます。

(4) 上水道の基本的な考え方

上水道
個別の基本的な考え方
<ul style="list-style-type: none">・市民の日常的な生活に欠かせない施設として、定期的な点検・診断調査を継続的に実施し、施設の劣化や不具合の早期発見に努め、「予防保全型」による計画的な対策を実施するとともに、ライフサイクルコストの低減を図りながら、施設の長寿命化を図ります。・未耐震施設については、重要度の高い順に耐震化を検討します。・災害発生時には市民の生命に係るライフラインとして、周辺自治体や関係機関と連携・協力して迅速な復旧・復興に取り組みます。・将来の需要実態及び更新費用を踏まえた水道料金の適正化を図り、管路及び設備等の計画的な更新を推進します。

(5) 下水道の基本的な考え方

下水道
個別の基本的な考え方
<ul style="list-style-type: none">・市民の衛生的な生活に欠かせない施設として、定期的な点検・診断調査を継続的に実施し、施設の劣化や不具合の早期発見に努め、「予防保全型」による計画的な対策を実施するとともに、ライフサイクルコストの最小化を図りながら、施設の長寿命化を図ります。・将来の需要実態及び更新費用を踏まえた下水道使用料の適正化を図り、管渠及び施設等の計画的な更新を推進します。